

Welcome
to
Piacarrot 3
fanbook

Present by
tololi

case of...
Tomomi
Aizwa

notice!
This book is
for Adult only

LOVE YOUR DREAM HERAT

2002/1/20

SUNSHAIN
CREATION14





□EPT LOGUE□

こんにちわ、とろりです。
今回は、このこびび（コピー誌）を手にとって下さって、ありがとうございました。
下司でひねりも無い直球エロですが、もしも、気に入ってくださったら
嬉しいです。

今回、サークル参加は2回目になります。
いつも委託ですきなこととして、遊んでたのと違って、
自分で参加するのは、色々手間隙がかかって、大変ですが、
やっぱり、なかなか面白いですね～。
これからも、ちょいちょい、イベントに参加
していこうとおもいますので、
みかけられたら、どうぞ宜しくです。

近況、といえば、今は当日の7時ですね～。
鳥がちゅっちゅさえずってて、萌えです。ここまで焦っているとさえずりが脳にきます。
それは、強迫観念にも似たっ…。(パキ風に)

あ、上のは下がたちきれてないこびびの1コマですね。
いつも、はみ出して悲しいので、載せてみました。

あるところに、
ともみちゃんという、
それは、愛らしい女の子が
おりました。
どのくらい、愛らしいかというと、

少し微笑んだだけで、
そのふっくらしたクチビルに、
くちづけをしてあげたいほど、
愛らしいのです。

しかし、恨めしくも、
そんなともみちゃんを、
お兄さんは
放っておくはずもなく、
ともみちゃんは、
お兄さんのいうがままに、
えっちなことを教え込まれ、
どこに出しても恥ずかしくない、
かわいやらしい子になってました。

ちゅ

おしっこをお漏らししたような、
しずかな、
でも、えっちな音が聞こえます…、

それは、ともみちゃんが
お兄さんのズボンを
開ける音でした。

けれども、おや……？
途中でともみちゃんの指が止まりました。
何かが引っかかって、動きません。

それは、
勃起したおちんちんでした。
早く、ともみちゃんを犯したいっ！
その柔らかい膣にあぶくをたてたい！
…そんな、卑猥な性欲にあふれたちんちんが、
激しくポッキしていたのです。

お兄さんは、
ともみちゃんに会えない間、
ずっとオナニーを我慢して、
精液を濃く多く、
その金玉に溜めてたのです。
そのため奉丸は大きくなり、
パンツから出せませんでした。

「くく…」
…と、ともみちゃん
の喉が鳴ります。
キツイ恥垢の匂いが、
プンと鼻につきます。

ともみちゃんのお口は、
涎をたっぷり含ませたまま、
おちんちんを啜えました。

ぱくん♪

お兄さんの顔をじろっと、
見つめ、自分のいやらしさに、
ぐっと興奮する様を見つめ、
自分の性欲を高めながら、
ちゆうちゆうと先端を吸い、
指で裏筋を攻め立てます。

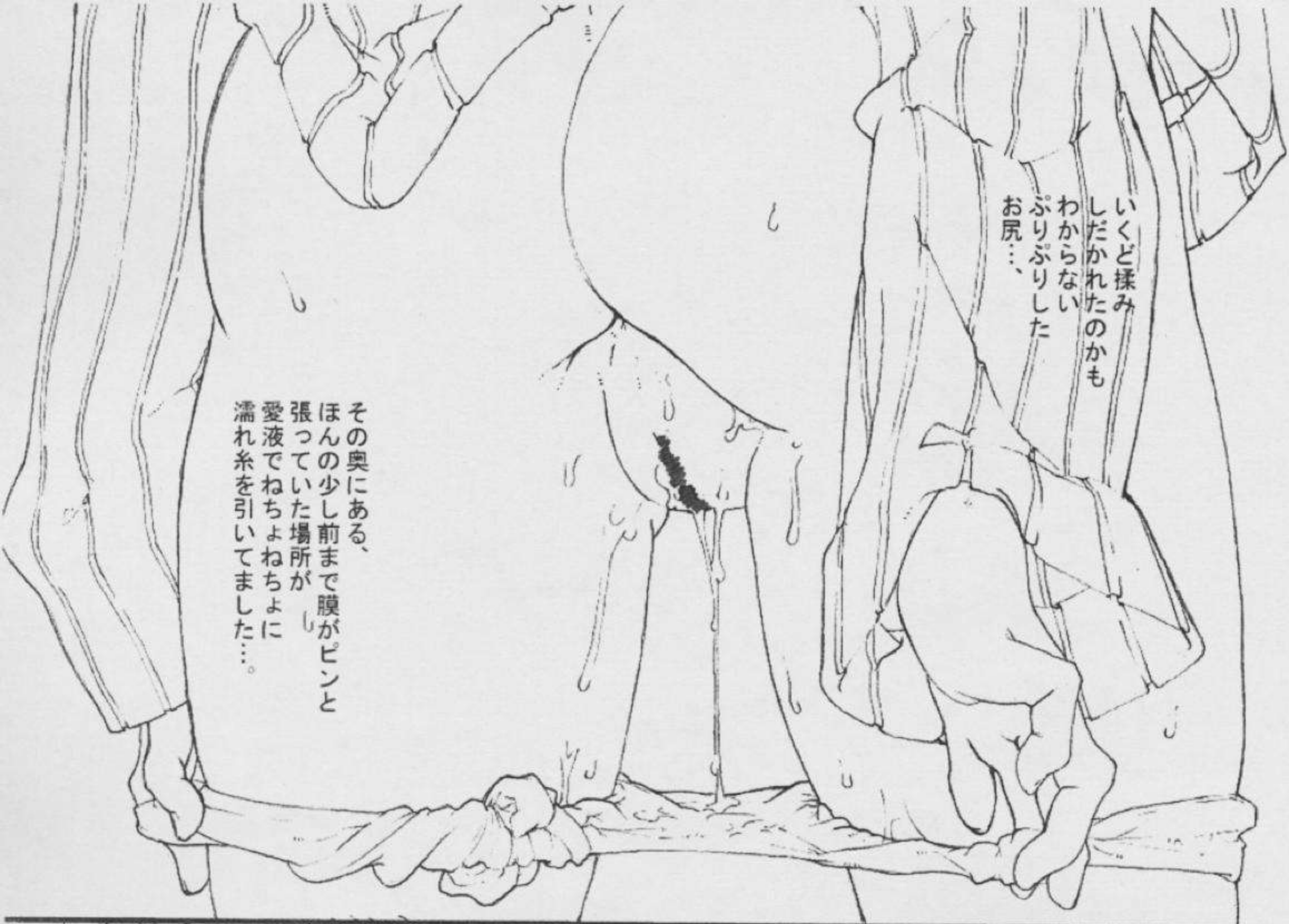
お兄さんは、たちまち、
絶頂に達しました。
ド。ジュッ、。ジュッ、
黄色味を帯びた、濃い精液が、
ともみちゃんの、可愛い顔に
降りかかります。
熱くて、ネトっとした
お兄さんのザーメン…、
ともみちゃんは、夢中でその
手触り、肌触りを楽しみました。



股を広げると、そこはもう、
甘い女の子の蜜で
トロトロでした…。
ちんちんをしゃぶってる間も、
割れ目をこすっていた右手が
まだクリトリスを
いじっています。



次は、
ともみちゃんの番です。



いくど揉み
しだかれたのかも
わからない
ぶりぶりした
お尻…

その奥にある、
ほんの少し前まで膜がピンと
張っていた場所が
愛液でねちよねちよに
濡れ糸を引いてました…



ともみちゃんは、
メス犬のように、
ベニスの方へお尻を向け、
そっと振り返ります。
そして指をくわえ、
じっとお兄さんの
ペニスが自分の瞳に
突き刺さるのを待ちました…

ずんっ！

「あ…、入ってきたあ…。」
ともみちゃんは
嬉しそうに腰を振ります。



…どれくらい、経ったのでしょうか。
ともみちゃんは、もう、
限界でした…。
そしてお兄さんのおちんちんも、
ウブな瞳の味を、満喫したようです。
お兄さんはいいました。

「…射精よ、ど」がうらっ」

ともみちゃんは、
ちよっと、悩みましたが、
思い切って、おねだりしました。

「膣内射精してくれる…？」



ともみちゃんが、
言い終わらないうちに、
龟头がぐっと膨らみました！

「ぴんぴん…」

膨張した先端が、子宮口をこじ開き、
精液を中に注ぎこみます。

「あ…、熱ッ……溢れちゃ……う……よお！」

腰をくねらせたたん、肉棒ポンプの
隙間から、黄ばんだザーメンがびゅっと
溢れ出しました。

「ゴッホーゴッホー…」

精液と愛液の混ざり合う時の
独特の淫音が、
臍の奥から聞こえてきます…。
ともみちゃんは、その音を聞きながら、
まだまだ硬いペニスの感触に、
うれしそうに身震いしました。

…8回目のアクメ…
コンプレックスである、
貧乳に、
温かいミルクが
ぶちまけられました。

ともみちゃんは、
もうヘトヘト…。

話のオチはというと、
ともみちゃんは、狙い通りのコースに
精子を飛ばされて、
しっかり妊娠したそうです。
メダシメダシ♪

おしまい

ともみちゃんの、
オオンコモアールも、
もう、お兄ちゃんのザーメンで
どろどろになっちゃいました。

それでは、
ともみちゃんも疲れてますし、
そろそろこのお話もおしまいです。



□ALPHA AND OMEGA□

おしまい、最後のコマのアナルの部分まで、
コメントかきたいんですが、すいません！
いま8時です、時間ナイナイ病です～！

ので、とりいそぎ、HPとメールだけ、
ご意見ご感想お待ちしておりますよ～。

URL <http://shibuya.cool.ne.jp/tololi/index.html>

E_MAIL tololi@geocities.co.jp

また、どこか会いましょう。

連絡先、郵便番号142-0053 東京都品川区中延3-2-17、
松山 孝雄 宛

± - < 3

と3411 =

い°4せんつ。

